



アクティブ・ラーニング&カリキュラム・マネジメント サミット 2019

京都市の取組

文部科学省 研究指定

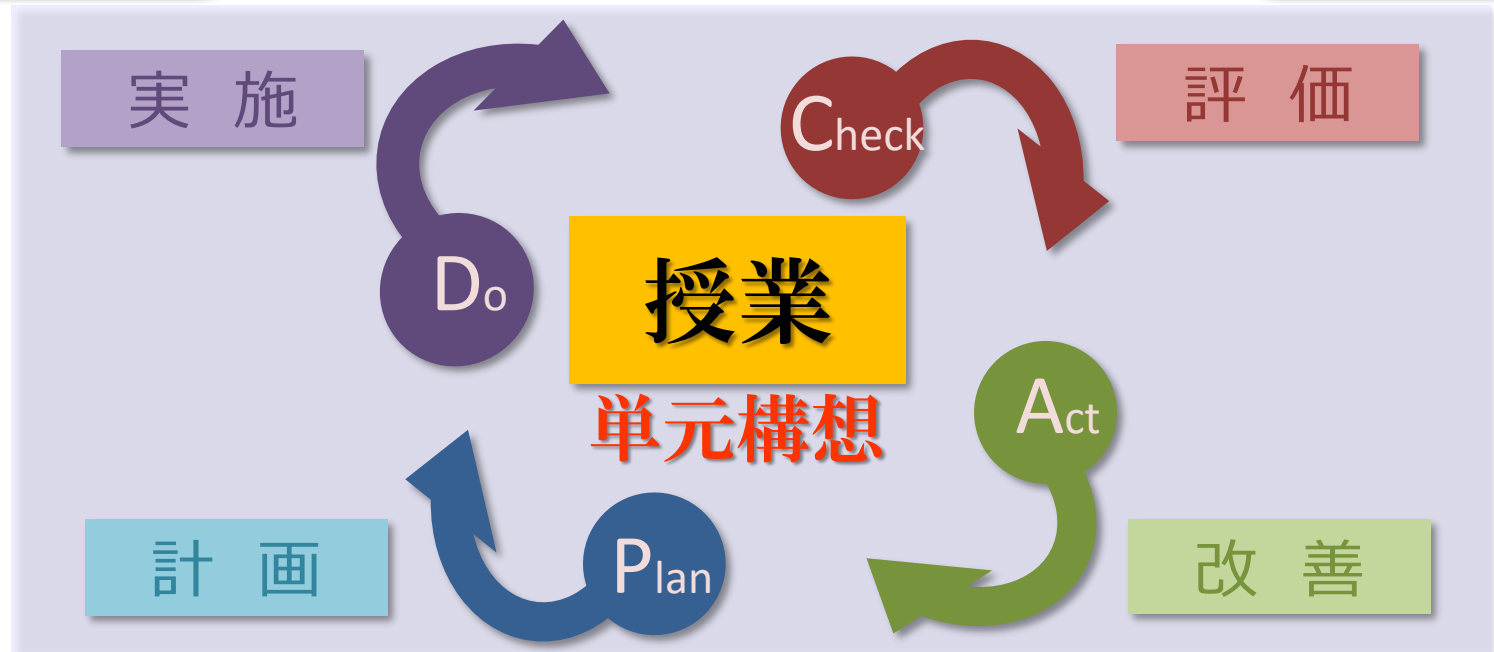
これからの時代に求められる資質・能力を育むための
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究
(平成29・30年度)

学校教育目標の具現化

主体的・対話的で
深い学び

育成をめざす
資質・能力

カリキュラムのPDCA



校長のリーダーシップ、教頭・教務主任・研究主任の役割、全教職員の協力

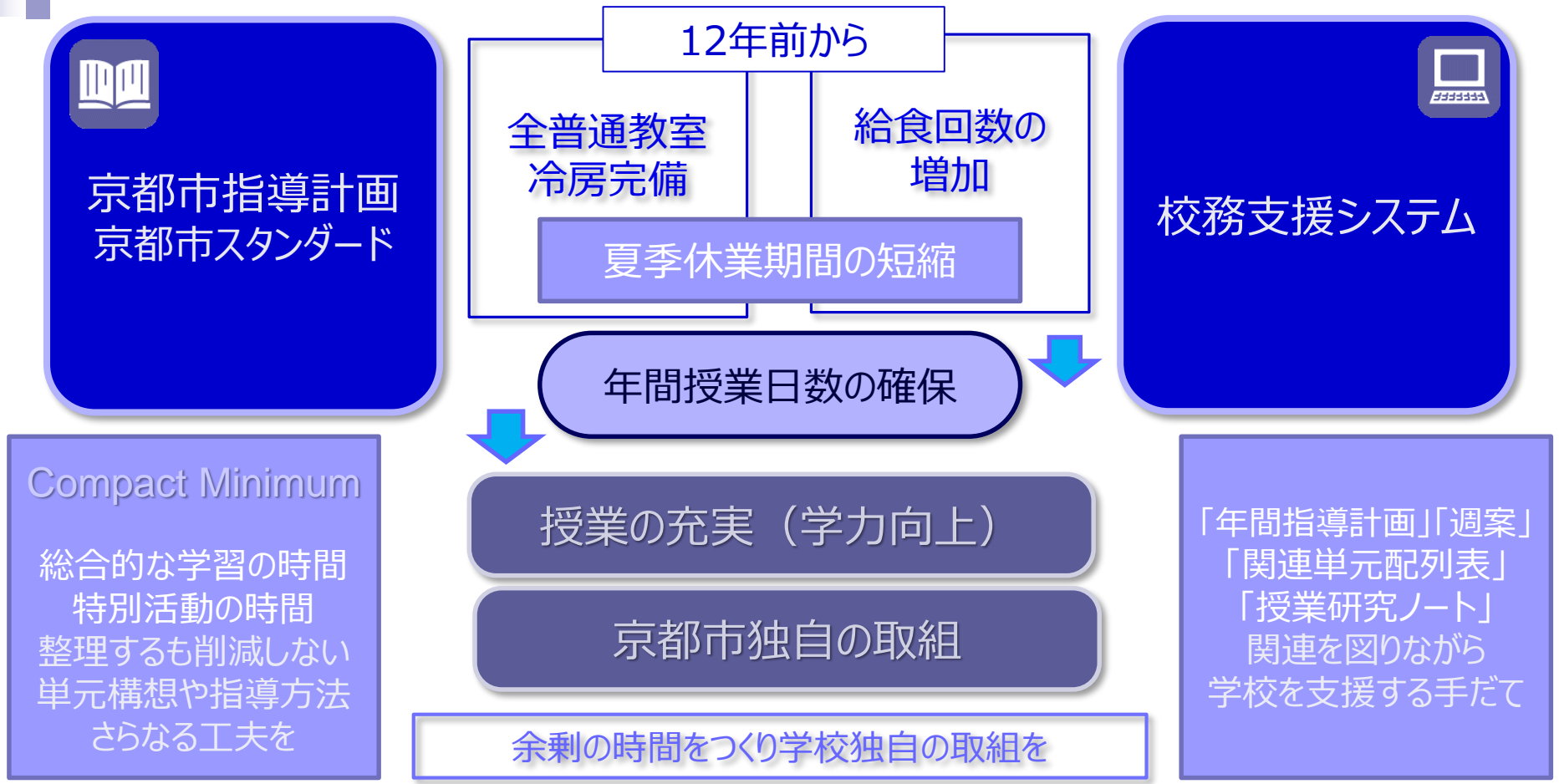
組織構造

人・物・財
組織・運営
時間・情報

家庭・地域社会

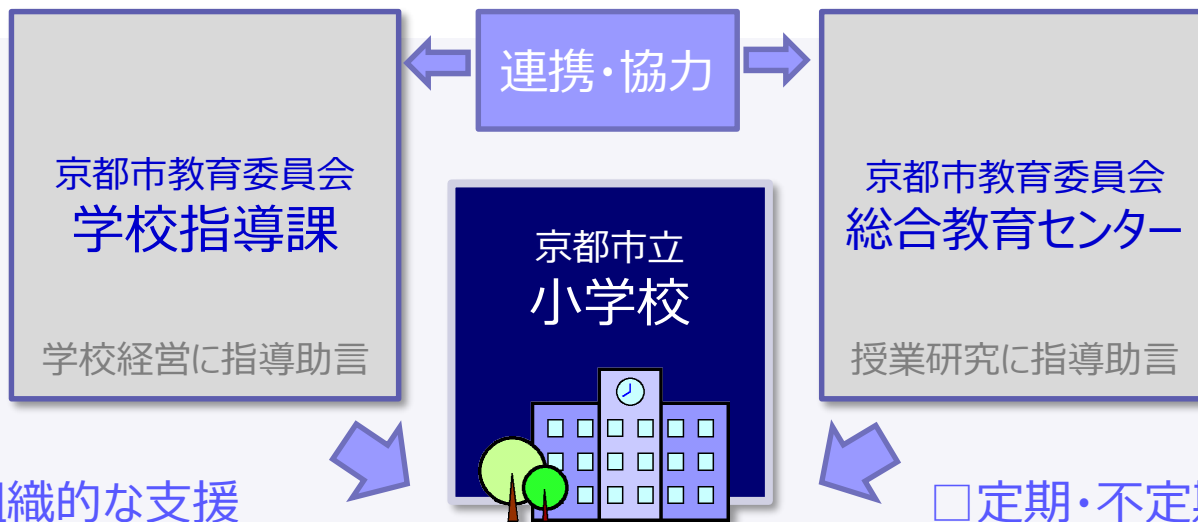
教職員の
意識・行動

学校文化



京都市では、実体験を通して、協働性や主体性を育むことが、各教科等の学力向上を支える基盤となると考え、本市独自の様々な体験活動を実施している。

- 環境教育
- 伝統文化教育
- 奥志摩みさきの家
花背山の家
- ▶ 長期体験
宿泊活動
- 生き方
探究教育
- ▶ スチューデントシティ
京都まなびの街
生き方探究館
- 食育
- 主権者教育



□学校への組織的な支援

□定期・不定期の学校訪問

全市で・各支部で・各校で

学校経営・校内研究・学力向上 等

新学習指導要領完全実施に向けての取組 カリキュラム・マネジメントの実践 等

■教育課程編成の参考となる指針や手引書を作成する

■すべての学校、すべての教職員への共通理解を図る

- 毎月の支部校長会で「カリキュラム・マネジメント情報」により、取組の方向や内容を伝達する。
- 指導主事は校内研究で必ずカリキュラム・マネジメントを踏まえた指導助言をする。
- 支部単位の「教務主任・研究主任 研修会」
- 支部単位の「教務主任・研究主任 自主研修会」
- 全市の「管理職 研修会」
- 全市の「管理職・教務主任・研究主任 研修会」
- 研究指定校における研究発表会
- 自校の次年度のカリキュラムの検討・立案

授業時数が収まれば、それでよいのか？

より効率的で質の高い取組へ！

小学校の
授業時数
年35時間増

働き方改革
の視点

学びの質を
高める
そのための
カリキュラム・マネジメント

小中一貫
教育

義務教育
学校

新しい
3学期制

学校運営
協議会

あらゆる教育活動の
質的な向上をめざす

すべてを
「授業」の視点で
考える

資質・能力の育成

伝統と革新のまち 京都から発信！

横のカリマネ

教科等横断的
関連単元配列表

縦のカリマネ

教科・領域の中で
系統性を

マクロで視る

全体を俯瞰する
ように眺める
単元で授業を！

ミクロで視る

細かく丁寧に
子どもを見とる
45分の授業で！

教科担任制

チームで取り組む
教師が
アクティブラーナーに

学級担任制

子どもの暮らしを
知っている

これまでの小学校教育のふり返りを！

授業改善の工夫

学年会で協議
日常的に記入

単元でつける資質・能力を

関連単元配列表

よりよい授業を
めざして校内研究

研究授業 学習指導案

教材研究の一環
総合的な学習の
時間との関連

授業ふり返り チェックシート

授業実践

45分の授業を
前提にして

担任一人一人がカリキュラム・マネジメントを意識する



年間
カリキュラムの
作成

学年会では
常に検討

校内研修では
全体で共有

関連単元配列表

から

PDCA
サイクルの
実践



学校行事と
各教科・領域等
の授業とを
関連付ける

□□小スタンダード



学校行事と
総合的な
学習の時間

長期宿泊活動で
探究的な学習を

学校行事と各教科・領域等の授業との関連を図る

総合的な学習
の時間

計画的で確かな
単元構想を立てる

行事名	準備時数	関連教科等	目標（ねらい・工夫）
運動会	体育18H 行事9H	体育科	練習時間の見直し 内容を体育の学習から
奥志摩 みさきの家	行事18H	理科 総合的な学習	「星や星座」「防災」等 の内容の学習を実施
花背 山の家	行事24H	総合的な学習	自然や環境をテーマにし た学習を実施
修学旅行	行事12H	社会科	歴史の学習を関連させて
学習発表会	行事4H	総合的な学習	授業で学んだことを発表 発表のための練習×



職員会議や
研修会の
精選・工夫

授業時数の確保
超過勤務の縮小

会議の前に
案件や概要を
Mailで伝達

会議時間の
短縮・効率化

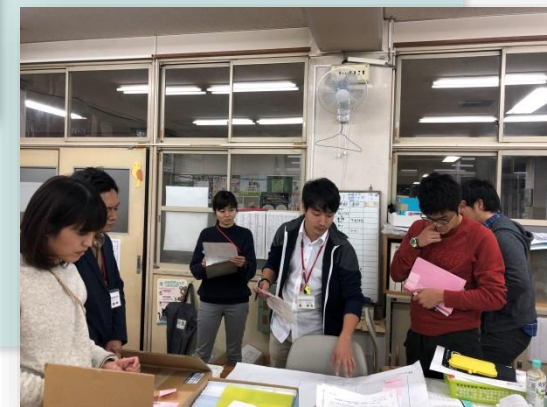
ツールを活用して
ミニ研修を実施
(考えを見える化)

重要テーマで
内容的にも深まる

児童に育てたい
資質・能力は
何かを全体で
共有しておく

事後研究会のタイムテーブル

時間	内 容
15分	小グループでの協議 ○付箋を持ちより, PMの表を用いて話し合い。 ○各学年の育てたい資質・能力に即した話し合い。
25分	全体協議 ○学校長の話 ○授業者より ○全体協議
30分	指導助言
25~30分	□□□小の研究について語ろう会
5分	○学校長の話



思考ツールの活用, 小グループの設定等の工夫
教職員自身が「主体的・対話的」に研修に参加

□学校行事の精選・再編

- 目的意識が生まれ、自分の力を出し切る子ども
- 「めあて・ふり回りカード」により、自らの成長を感じる子ども

- 精選された行事一つ一つに集中して取り組む子ども
- 総合などの授業との関連から意欲を高めた子ども

□週時間割の工夫

- パターン化・簡素化した時間割により、時間を守る意識がついてきた子ども



- 研究授業等において、多く見られるようになった、主体的に学ぶ子ども

- 日々の授業において、まだよく見られる教師主導の授業
- 持続可能で日常的な授業研究に励みたい

□授業改善の工夫

□年間カリキュラムの作成

●年間を通して、常に「実践」「検証」「修正」をくり返す教職員
〈PDCAサイクルの実践〉

●リーダーの設置により、主体的に学校運営に参画するようになった教職員
〈円滑な校務運営〉

●総合的な学習の時間を関連付けることにより、単元の流れに沿った授業を計画的に実践できた教職員

●長期宿泊活動において、授業の関連を意識した指導ができて、授業時間内に収めることができた教職員



□学校行事の精選・再編

●内容の精選や情報の共有化に迅速に取り組み、効率化の意識を高めた教職員

●関連はできても、探究的な学びには至らない授業
●「探究的な学び」のある総合的な学習の時間を実践研究する。

□職員会議や研修の精選・工夫

- 学校教育目標等の丁寧な説明を受け、学校への共感的な理解を深めた
PTA保護者・地域〈学校運営協議会〉

□ 学校行事の精選・再編

- 関連単元配列表により、授業の見通しをもった教職員

- 学校の授業に積極的に支援・協力してくれるPTA保護者・地域〈学校運営協議会〉

- 地域の行事（と関連した学習）に積極的に参加する子ども

風の時間	風の時間	風の時間	5	風の時間	
5	5	5	13:40 14:25	5	13:55
終わりの会	移動・準備	移動・準備	終わりの会	移動・準備	14:40
6	6	6	14:30	6	14:45
クラブ・委員会 14:50 15:35	終わりの会	終わりの会	放課後	終わりの会	15:30
					15:35
放課後	放課後	放課後	放課後	放課後	16:30
下校	下校	下校	下校	下校	

※完全下校時刻 2月から10月…16:30 11月から 1月…16:00

□ 週時間割の工夫

- 下校時刻の変更があり、連絡が滞った場合に、支障がある見守り隊・児童館
- 連絡方法の改善

成果

学校のあらゆる教育活動を
カリキュラム・マネジメントの視点で
見直すことができるようになった。

(カリキュラム・マネジメントの
意識の向上)

年間を通して授業時数を
管理する意識

各行事の進捗状況を
把握しながら、
計画の見直しや
取組の改善を行う意識

授業改善に向けた
校内研究体制の充実

教科等横断的なつながり
を意識した取組の進展

□研究実践校の取組を全市的に展開・拡大するために

課題

それぞれの学校実態に即した柔軟で、特色ある教育課程の編成のために取り組むべきことは何かを明らかにした上で、迅速に全市展開を図る。

(柔軟で特色ある教育課程)

週30コマの授業の予定は時間的な余裕がない。

自然災害や伝染病流行の際に学級・学校閉鎖等があっても、回復措置を取ることが困難

働き方改革の推進

校務支援員の配置等の取組

授業時数の増加は教職員や子どもに負担を与えている。

負担とならない方法を探り改善する必要がある。

□学校と連携・協力しながら「働き方改革」を積極的に推進する。